

第3回まちづくりワークショップ開催の報告

日の里地区が「こんなになるといいな」というアイデアのひとつひとつについて役割分担を検討しました！

発行
 日の里地区コミュニティ運営協議会
 宗像市日の里 1-16-1
 電話 0940-37-1587
 平成 16 年 2 月 1 日

第3回まちづくりワークショップを開催

第3回ワークショッププログラム

平成 16 年 1 月 25 日（日）午後 7 時から、日の里コミュニティセンターにて、「第3回日の里地区まちづくりワークショップ」を開催しました。

九州産業大学建築学科助教授、日高圭一郎先生の進行のもと、まず5つのグループに分かれて、前回出された「こんなになるといいな」というアイデアのひとつひとつについて、行政、住民どちらが主体となって進めるべき事柄かを話し合いました。

住民、行政どちらが主体か迷うものや住民と行政が協働で取り組む必要があるものなど、単純に分けられるものではなく、議論が必要でしたが、「日の里をこんなまちにしたい」という取り組みのイメージが深まったのではないのでしょうか。

次に、「住民が主体となってやるべきもの」を中心に各グループの発表会を行いました。そして、日高先生とメンバー全員とのやりとりの中で、各グループからの意見を整理しました。その結果を下の図に示していますが、「住民が主体となってやるべきもの」の主な意見について、「すぐにできるか、準備が必要か」「少数でも始められるか、地区全体で取り組むものか」の2つの視点で整理しています。

最後に、日高先生の整理した「住民が主体となるべき取り組み」に対して、一人3票のシール投票を行いました。下図の数字はその投票数を示しています。

1.オリエンテーション	19:00~19:20
前回ワークショップのおさらい 本日のプログラム説明	
2.グループディスカッション	19:20~20:00
『役割はどっちだ!?』 前回出された「こんなになるといいな」というアイデアのひとつひとつについて、行政・住民どちらが主体となって進めるべき事柄かを検討し、グループシートに整理しました。	
3.グループ発表と全体やりとり	20:00~20:45
グループシートの発表 ・作成したグループシートをもとに「住民が主体となるべきもの」を中心に各グループで発表しました。 全体やりとり ・各グループから発表された「住民が主体となるべきもの」を全体でのやりとりの中で整理しました。	
4.今回のまとめと次回ワークショップについて	20:45~20:55
今日のまとめ 次回ワークショップのイメージ ワークショップの感想の記入	
5.シール投票	20:55~21:00
整理された「こんなことやりたい」に対して、一人につき3票のシール投票を行いました。	

住民が主体となるべき取り組み

